

えんがわ

第42号

2010年9月発行

発行元 衣笠病院グループ
衣笠病院内 須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

小泉純一郎先生のお話聞きました!

先日、初めて政治家の講演会を聴講した。これは元

総理大臣小泉純一郎氏の話の冒頭だ。「今までは、見積もりよりも多い税収が得られ、それによっていろいろな追加手当が可能であった。しかし、現在は予想より少ない税収でなんとかやりくりしていかなければならぬ。当然、公務員数を減らしたり、無駄な補助金を削減したりする行財政改革が必要なのであるが、郵政民営化中止や高速道路無料化などはこの流れにあるのか」と続く。私は、今まで政治に興味はほとんど持たなかった。しかし、最近では周囲の人たちと、な

んとなくこのままでは日本は大変なことになるのではないかと聞いた話をよくするようになった。

政治は、どうも我々の普段思っている方向と異なる方向へ向かっているような気がする。医療・介護の現場を知る者として、また二児の父親として政治家の方々にお願いしたい。高齢者にやさしく、また若い世代にあまりにも負担になり過ぎないバランスのとれた社会を、困難かもしれないがなんとか実現してほしい。権力争いや選挙対策ばかりやっている場合ではないですよ。

湘南国際村クリニック
医師 小林零

えんがわ在宅

癒し風景

我が家の最寄り駅から自宅までは普通の住宅地だが、自宅の裏の坂を上ると一面の畑、天気によって富士山が見える。夏は黒いシルエットのように見える、冬は雪化粧した富士山。それは本当にすばらしく、清々しい気持ちにさせてくれる。日々の生活に追われ、周りをみる余裕などなくなってしまう時には、その景色を見て深呼吸するように心掛けています。

立ち止まって周りを見ると、余裕のない事が多いように思われますが、自然に触れると気分が癒され、日々の生活を乗り越えられる力がわくかもしれません。皆さんのお住まいの近くにもたくさん癒し風景がある

かもしれないので、見つけてみてはいかがでしょう？

衣笠病院ケアセンター
介護支援専門員 小口紀代



先日韓国に行き、日本人でサムゲタンのお店に入りました。どんぶりが大きいので三人でひとつのどんぶりを頼むことにしました。お店のオバサンは「あなたらそんなじゃ足りないよ」と首を振っていました。周りを見ると韓国人たちは一人ひとつのどんぶりを抱えています。二つ注文してしまいました。食べ切れませんでした。食べて残暑を乗り切ろう!